

# Monthly Magazine Matsunami

[発行]社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

2019 March  
3  
No.233

## 岐阜医療圏地域コンソーシアムの協定締結式が行われました。



▲左から岐阜大学医学部附属病院 吉田和弘病院長、松波総合病院 松波英寿理事長、岐阜市民病院 富田栄一病院長、岐阜県総合医療センター 滝谷博志理事長兼院長

2019年1月30日(水)に岐阜大学で、岐阜医療圏地域コンソーシアムの協定締結式が執り行われました。

岐阜医療圏地域コンソーシアムとは、岐阜大学医学部附属病院(614床)、岐阜県総合医療センター(604床)、岐阜市民病院(559床)、そして当院(501床)の4つの急性期病院(病気を発症し、急激に健康状態を損なわれた患者を治療する病院)が連携して、岐阜医療圏の医療の発展を支える共同事業体(=コンソーシアム)です。今回の4病院による連携で、2,000床を超える1つの病院群としてのスケールメリットを活かし、治験(医薬品の効き目や安全性を確かめる検査)や臨床研究ネットワークの構築、共同での医療従事者研修の実施、医療機器の情報共有などを通じて、医師育成および医療レベルの底上げを図り、地域に密着した医療提供などを行うのが最大の目的です。

ちなみに、今回のような急性期病院だけでの提携は、東海地区初、全国的にも他では類を見ない事例と言われています。今回のコンソーシアムが、全国的なモデルケースとなれるよう、当院も積極的に携わっていきます。



次のページは、「フットケアに関する講演と体験会」のご紹介

### Matsunami Information

#### NEWS

#### ゴールデンウィーク 期間中の診療について

#### ゴールデンウィーク期間中は、4月30日(火)、5月1日(水)、5月2日(木)に通常診療を行います。

新天皇の即位日となる5月1日が「1年限りの祝日」となり、2019年のゴールデンウィーク(4月27日～5月6日)は、「国民の祝日に関する法律」により、10連休となります。当院では、10日連続の休診による診療への影響などを考慮し、4月30日、5月1日、5月2日につきましては、通常診療を行うことを決定いたしました。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。※4月27日(土)につきましては、通常通り午前診療を行います。

#### 院内感染対策研修会を開催しました。

当院の院内感染対策マニュアルを今年度改定したことにより、2019年2月1日(金)、職員全員を対象にした研修会を開催しました。講師は、ICDや感染症専門医資格を有する岩田暁医師が務めました。

感染対策の基本事項である手指衛生の再確認をはじめ、手袋やマスクの正しい取り扱いなどに関する講演でした。また、感染症の検査と治療に関して、医師側からコメディカルに知識の共有を行いました。新しくなった院内感染対策マニュアルを全職員に浸透させることで、感染への意識を高めることができました。



#### 岐阜県医療現場ニーズ発表会を開催しました。

2月4日(月)、当院で「岐阜県医療現場ニーズ発表会」を開催しました。臨床現場で出てきた問題点などを当院の医療スタッフから報告を受け、県内のものづくり企業から課題に対する試作を含めた対策を提案いただく会です。実際の発表会では、錠剤の粉碎器の改良についてなど6つの課題についての発表があり、それに対する企業からの提案がありました。

今回の発表会を通じて、より質の高い医療提供につながればと思っております。



#### 講演会・セミナーのお知らせ

#### 松ゼミ (松波ナーシングスキルアップセミナー)

医療職の方なら、どなたでも参加できます

テーマ	摂食・嚥下障害へのアプローチ ～食事援助の根拠とコツ～
日 時	2019年3月7日(木)17時30分～
場 所	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール
講 師	摂食・嚥下障害看護 認定看護師 森田 しおり
共 催	羽島郡在宅医療 サポートセンター

#### がん患者・家族のつどい 2018年度年間計画

次回開催	2019年3月26日(火) 14時00分～
場 所	社会医療法人蘇西厚生会 まつなみ健増クリニック 1階 化学療法室ラウンジ
お問い合わせ	058-388-0111(代) がん化学療法看護認定看護師 野々垣まで

月	テ マ	講 師
5月	チューブ体操	理学療法士
7月	がんのお話	消化器内科 伊藤康文 第二消化器内科部長
9月	フットケア	外部講師
11月	アロママッサージ	外部講師
1月	がんのお話	消化器内科 伊藤康文 第二消化器内科部長
3月	栄養のお話	管理栄養士
予備	メイクアップについて	

#### 駐車場のご案内

患者さん用立体駐車場の建設工事に伴い、P5・P7全面、P8駐車場の一部駐車場が使用不可となっております。ご利用の際には、ご注意いただけますよう、よろしくお願ひいたします。



#### ARアプリ COCOAR2導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



# 「フットケアに関する講演と体験会～いつまでも健康な足を守るために～」を開催しました。



2012年に、2月10日を「フットケアの日」として、当院の心臓血管外科部長・心臓血管外科センター長である、日本フットケア学会の熊田佳孝理事長(当時)などにより制定しました。フットケアの日から、約1週間後となる2月16日(土)に、当院と笠松町の共催で、初めてフットケアに関するイベントを開催しました。

そもそも、「フットケアの日」の制定理由としては、糖尿病や末梢動脈疾患(PAD)、閉塞性動脈硬化症(ASO)による足の病気の予防、早期発見、早期治療の啓発が目的です。末梢動脈疾患や閉塞性動脈硬化症の足病変とは、足の動脈が狭くなったり、血管が詰まつたりすることで、血液の流れが悪くなる状態のことです。主な症状として、足の冷感やしづれ、「蒼白」と言われる色調の変化、「間欠性跛行(かんけつせいはこう)」と言われる歩くと症状が悪化し、休めば症状が和らぐ状態、「安静時疼痛(あんせいじとうつう)」と言われる何もしなくても足が痛む症状などがあります。これらの症状は重症化すると、潰瘍や壊死など組織欠損により、足の切断に至ってしまいます。

日本では、足の健康に対する意識がまだ低いと言われており、当院としては、まずは地元の笠松町の住民の方々に、足への健康の意識を高めてもらうべく、今回のイベント実施に至りました。イベントは、講演会と健康測定体験会の二部構成で行いました。



## フットケアに関する 講演と体験会

2月16日(土) 13:00~16:00



## ミニ講演会

### 講演1 「危険な病気です。閉塞性動脈硬化症」



心臓血管外科部長・  
心臓血管外科センター長  
**熊田 佳孝**

閉塞性動脈硬化症とはどういう病気なのかを症状、診断方法、治療方法などを中心に講演しました。発表中には、実際に患ってしまった状態の足の写真を聴講者の方々に見せ、フットケアの大切さを理解していただきました。「足は第二の心臓」と言われ、もし切断することになれば、日常生活に大きく支障を来たしてしまいます。まずは、隔日30分歩くことが閉塞性動脈硬化症の治療の第一歩です。ぜひ、取り組んでください。



### 講演2 「健康は足から!フットケアと運動」



リハビリテーション技術部  
理学療法士 フットケア指導士  
**荒川 優也**

熊田医師の講演を受け、足の運動を中心に講演しました。加齢とともに、下半身の筋力は上半身と比較して低下しやすく、下半身の筋力が弱まることで、寝たきり状態や要介護認定を受けることになってしまいます。それらを防ぐために、重要なのは「運動」です。軽い運動でも良いので、継続することが重要です。歩くこと以外に、30秒の椅子からの立ち上がりや、ストレッチなどの有酸素運動または低負荷の無酸素運動の実施が効果的です。



## 体験会

### ABI測定

左右の上腕と左右の足首の血圧を測定し、その比率から血管の狭窄(すばん)や閉塞(閉ざされてふさがる)など、血管年齢を知ることができます。測定後には、臨床検査技師と一緒に数値を確認し、現在の足の健康状態を把握したうえで、今後の生活習慣の参考にされました。



### フットチェック 足の見方・爪の切り方

フットケア指導士の資格を有する看護師が、足の爪切りや角質の処置などを行いました。看護師からの処置を受ける際に、足の爪の切り方や、足の保湿など手入れの仕方についてなど、相談する参加者の方が多く、足の健康の意識が高く感じられました。



### フットプリント 簡単にできる足の運動



足底の接地状態を紙に印刷し、足型の評価を通じて、足の健康状態をみる検査です。紙に印刷された足型をもとに、理学療法士から足の状態についての説明を聞かれました。また、フットプリントの検査を待っている間、「簡単にできる足の運動」を行い、講師の理学療法士と一緒に取り組んでいる姿が、数多く見受けられました。

### 軟膏の上手な 塗り方・使い方

薬剤師から、足に使用する軟膏の塗り方について、紙を使った説明と実演による説明を行いました。特に、実演時には参加者の方から薬剤師に軟膏の塗り方についての質問や、現在使用している軟膏についての相談などを、積極的に聞いていた姿が印象的でした。

